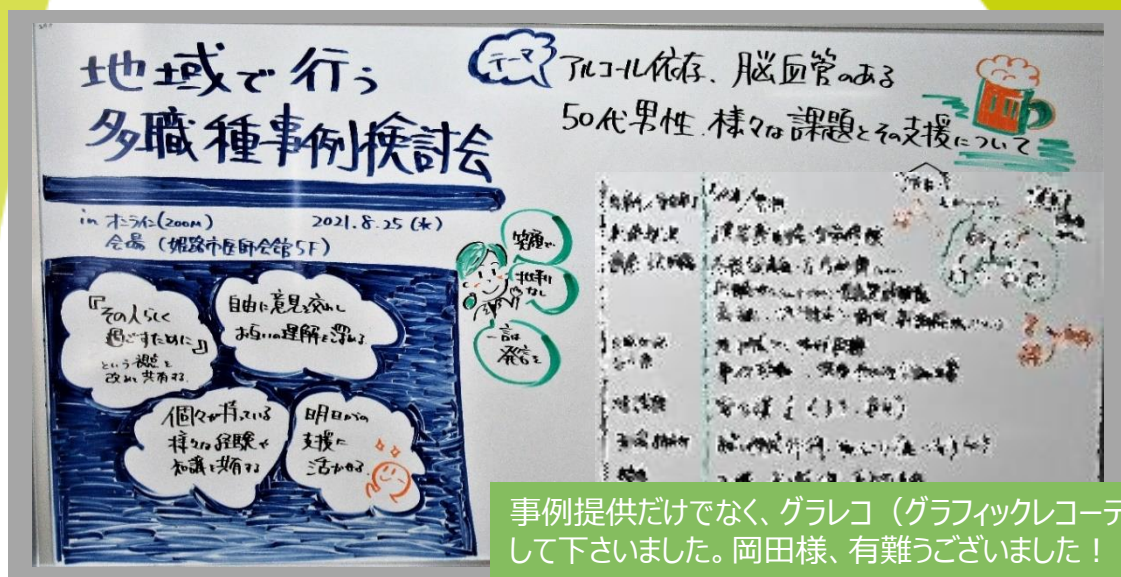


多職種事例検討会 (緊急事態宣言下のためオンラインのみの開催となりました)

「アルコール依存、脳血管疾患のある50代男性 様々な課題とその支援について」

ばんしゅうケアプラン 介護支援専門員 岡田 英之氏に事例のお話をいただきました。45名の多職種の方々にご参加いただき、事例の検討をしました



事例提供だけでなく、グラレコ（グラフィックレコーディング）もしていただきました。岡田様、有難うございました！

事例検討の一部

【飲酒について】

- ・断酒、減酒は、本人の強い「止める」意思が重要。家族からの働きかけも大きなポイントとなる
- ・アルコール依存の治療（外来受診）に向けては、かかりつけ医からのアプローチも一つではないか
- ・断酒、減酒は本人だけの力では継続困難。家族や周りのサポートも大切となる
- ・依存度が悪化していないか日常生活や家族関係性への影響（変化）についても観察が必要

【コロナ禍での家族関係性について】

- ・連絡頻度を増やしたり、本人と家族に個別に話を聞く（コミュニケーションを通してストレス緩和）

など、様々な課題について話し合い、多職種の皆さまから色々なご意見をいただきました

アンケート回答(一部)

- ・ご本人の思いは勿論だが主介護者の思いも個別に聞いて気持ちに寄り添う。今が以前に比べて少しでも良い方向に向かっていることを伝えモチベーションを高めてもらうこともこれからの訪問時に活かしてみたい。
- ・同じような方を対応することがあれば、本人たちの意識や病院との関りを考えたい。
- ・本人だけでなく、家族や関係機関の連携が大切である事を知れた。コロナ禍でも自分が信頼して相談できる場所や自宅内外に避難できる場所を確保したり、自治会や民生委員等の協力していくことも考えてもいいのではと思いました。
- ・コロナ禍において閉じこもりがちになり虐待等の発見が遅れてしまうケースも考えられる。専門職との連携や民生委員や自治会等の地域でも些細な変化を聞き取る事が出来る関係づくりに努めていきたい。
- ・在宅医療や服薬指導において考慮すべき患者様の背景の例として参考になりました。

多職種と一緒に考えたい事例はありませんか？

- ・現在進行形の事例で、今後の支援に困っている
- ・ケースの振り返りをして、多職種の意見を聞いてみたい
- ・とても良いケースだったので、多職種で共有して意見交換したい

まずはお気軽にセンターまでご連絡ください！

姫路市在宅医療・介護連携支援センター

TEL : 079-295-3330 FAX : 079-295-3351

Email : med-care@himeji-med.or.jp

